

プロジェクト演習 オンラインガイドス (2) 課題提案ポンチ絵

1

提案課題名

1: 課題をご提供
くださる機
関・団体名

2: 活動の過程で
ご協力ご支
援いただけ
る事が期待
できる機
関・団体名

関連特記事項

地域へ
学生のプロジェクト活動
から期待される内容

たとえば・・・
「お題」ご提供者様が期待されて
いらっしゃる活動内容
など

プロジェクト
演習A/B/C/D
Since20XX

主たる活動場所

自らへ
学生が目標とすべき
「学び」の内容

写真・図表等

2

水戸に人を呼び込む企画立案 feat. 水戸のワイン

1: 提供
Domaine MITO
株式会社

2: 協力
水戸税務署
県・市
水戸商工会議所
酒類業界の団体
農家・農業団体

ウイズ・コロナで
注目を集める地
方移住やマイク
ロツーリズムを
様々な角度から
解析していく

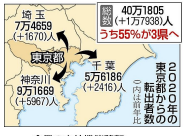
地域へ
地域と若者のコラボ
多様化するスタイル取り込み
持続可能な地域づくりを検討
若者の視点で再発見

たとえば・・・
コロナ禍における
ワイン造り体験ツアー企画立案
農業体験ツアー企画立案
ワイン・農業についての調査
など

プロジェクト
演習A
Since2016

水戸市中心市街地
水戸市の農村地帯
首都圏などの大消費地

自らへ
実行力の大切さ
コミュニケーションの難しさ
時代の変遷
コロナ禍での社会の動き



40万1805
(+1757838人)
うち55%が3歳へ

企業の本社機能移転

順位	移転先	移転数	順位	移転先	移転数
1位	大阪	66社	14位	大阪	32社
2位	愛知	34社	23位	茨城	30社
3位	福岡	28社	24位	静岡	20社
4位	茨城	19社	25位	群馬	16社
5位	兵庫	17社	26位	福岡	18社
6位	北海道	16社	27位	群馬	16社
7位	群馬	12社	28位	栃木	16社
8位	静岡	10社	29位	山梨	12社
9位	徳島	9社	30位	長野	12社
10位	宮城	8社	31位	京都	10社
	青森	8社	32位	京都	10社
	香川	8社	33位	徳島	8社
	京畿	8社			

※2019年、国土データバンク調べ

3

若者・よそ者で里美の地域おこし活動

【提供】
常陸大学
常陸大学
常陸大学
常陸大学
常陸大学

【協力】
常陸大学
常陸大学
常陸大学
常陸大学
常陸大学

【地域へ】
6次産業化
流入人口増加
持続可能な地域社会

たとえば・・・
これまで・・・
農産物(里川カボチャと米・雑穀)の栽培と
商品開発
体験イベントや魅力発信のための企画と運営
里川カボチャ栽培の後継者不足解消を目的とし
たカボチャ栽培希望者・里川川地区移住希望者
に向けた基礎調査

たとえばコロナ禍のなかでの新しい取り組みとして・・・
大学という特徴を生かした里美地区の村おこしや
新しい地域の「宝物」づくりのための調査活動
「まどか折橋」と連携した循環する中山間村シ
ステムづくりについての学習・協働活動 など

プロジェクト
演習B
since2012

常陸大田市里美地区
県内有数の少子高齢化過疎地域である
とともに、
村おこしに熱心な地域

自らへ
地域調査の切実な方法を学ぶ
里美の現状や課題を知る
活動を通して主体性を身につける
課題解決に向けた思考力を鍛える



4

地域のグローバル化推進プロジェクト

茨城キリスト教大学
(日本人学生、留
学生、インターン
生)

茨城大学
(日本人学生、留
学生)

水戸市又は日立市
近郊の高校生

日立市・水戸市を
中心とした
高等学校の協力


地域へ
高校と大学の連携
異文化理解・交流の促進
地域住民のグローバル意識向上

たとえば・・・
1. オープンキャンパス時に、留学生と
高校生、水戸生が交流するイベント
企画・開催する
2. 学園祭で、留学生と地域住民が交
流するイベントをプロデュースする
など

プロジェクト
演習C
Since2012

茨城キリスト教大学キャンパス
(茨城大学キャンパス)

自らへ
外国人との交流を通じ
自文化を再認識すると同時に
他文化への理解を深める
英語での発信能力を高める



※写真は過去のオープンキャンパスや
学園祭の様子
※今年度は新型コロナウイルス感染
拡大防止対策を十分に配慮して
プロジェクトを計画します

5

自分たちのチカラで、公共交通や自転車を変える！

【課題提供者】
水戸市交通政策課

【活動支援者】
水戸市都市交通
戦略会議(※)など
※交通事業者や他
関係者等関係等

水戸市職員が活動を
強力にサポート！
「学外実習(インター
ン)」を修了すること
ができ、キャリアアッ
プにつながります！

地域へ
学生ならではの感性・発想を反
映させることで、公共交通や自
転車利用環境をよりよいものに
する。

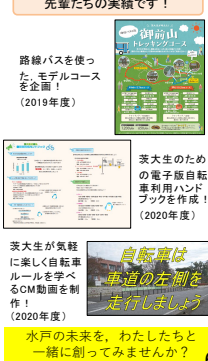
公共交通や自転車における課
題について、思い立った対策を
実際にカタチにする活動を行います。
バスや鉄道がもっと便利になれ
れば、自転車がもっと利用しやす
くなれば、皆さんの生活もより良
くなるはず！
皆さんのアイデアで、くらしを
もっと豊かにしてみませんか。

プロジェクト
実習D
Since2014

水戸市

自らへ
公共交通や自転車の現状と課題を把
握し、その対策を自ら考え、実践するこ
とで、「生きる知識」を習得しつつ、課
題を解決する力を身につける。

先輩たちの実績です！



路線バスを使っ
た、モデルコース
を企画！
(2019年度)

茨大生が気軽
に楽しく自転車
利用ハンド
ブックを作成！
(2020年度)

自転車は
車道の左側を
走行しましょう
(2020年度)

水戸の未来を、わたしたちと
一緒に創ってみませんか？

6

